

一般社団法人日本鳥学会 2026 年度事業計画

(1) 学術雑誌及び刊行物の編集

- ・日本鳥学会誌を 2026 年 5 月と 11 月に発行する。
 - ・Ornithological Science を 2026 年 1 月と 7 月に発行する。
- また電子ジャーナル化に伴い、オンライン先行公開についても試行的に実施する。

(2) 年次大会、シンポジウム、講演会などの開催

- ・日本鳥学会 2026 年度大会を 2026 年 10 月下旬以降に名古屋大学で開催予定。
- ・大会期間中に公開シンポジウムを開催する。
- ・鳥の学校を年次大会の期間に接続した日程で開催する。

(3) 鳥学の研究・調査および内外の関連学会との連絡提携

- ・国内の鳥の分布および分類に関する情報を収集・精査し、日本鳥類目録の改訂に備える。
- ・自然史学会連合、男女共同参画学協会連絡会等を通して関連学会との情報交換、連携を行なう。

(4) 鳥学に関する情報の提供並びに鳥類の保全と管理に関する助言及び提言

- ・ホームページ、鳥学通信、SNS 等を通して情報発信を行なう。
- ・必要に応じて、鳥類およびその生息地の保全・保護に関する提言や要望書の提出等を行なう。

(5) その他、学会の目的を達成するために必要と認めた事業

- ・黒田賞、内田奨励賞、中村司奨学賞、日本鳥学会ポスター賞の候補者を募集し、優れた研究を表彰する。
- ・学会に寄せられた書籍を管理・保管する。

※(定款第 45 条) 本法人の事業年度は、毎年 1 月 1 日から 12 月末日までの年 1 期とする。